

No.12-96 第2回セミナー&サロン 開催報告
将来を支えるエネルギー技術開発に向けて—明日の未来に向かって—

部門企画委員長 梅沢 修一（東京電力）

2012年11月2日（金）、動力エネルギーシステム部門主催セミナー&サロンが東京ガス株式会社千住テクノステーションで開催された。現在の日本は、東日本巨大地震と大津波による福島第1原子力発電所の事故の影響も色濃く、ほとんどの原子力が稼働停止しており、明確なエネルギーの将来が見えない状況となっている。そこで、将来の方向性を示すべく、「将来を支えるエネルギー技術開発—明日の未来に向かって—」をテーマに、セミナーの部で現在最も注目を集めているスマートグリッド、分散電源について、それぞれの第一人の方に講演頂いた。

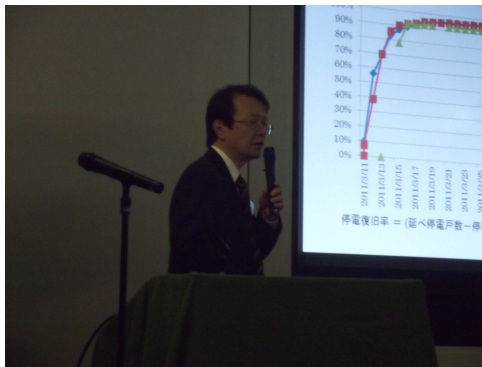
まず東京海洋大学大学院の刑部 真弘先生より「船舶を利用したスマートグリッド」と題し、ご講演頂いた。一定規模のエリアでエネルギーバランスをとるメリット、ヒートポンプ、コ・ジェネ等多様なエネルギー機器の必要性等、示唆に富む講演であった。続いて、東京ガス株式会社小林 裕明常務に「分散型エネルギー社会の実現に向けた東京ガスの技術開発」と題し、ご講演頂いた。エコジョーズ、エネファーム、マイコンメータから水素社会に至るまで、わかりやすくご説明頂き、将来像の一つの形を示して頂いた。全体に講演後の討議も活発で、時間は押し気味であった。

見学会は東京ガス千住見学サイト「Ei-WALK」において実施され、太陽光発電、高効率ガスエンジン、それらを束ねるスマートネットワーク等、最新の技術を見学できた

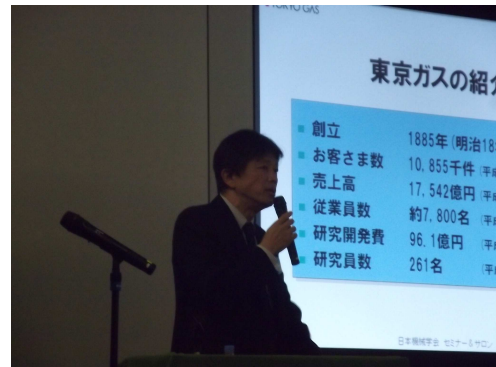
部門賞贈呈式では、初めに坂井部門長の挨拶で、今年夏のアーミテージ報告書から「日本は（原子力を持つ）一流国家であり続けたいのか、（原子力を持たない）二流国家で満足するのか決断を迫られており、重大な転機にある。」との話があり、大変印象的であった。続いて、刑部部門賞委員長の選考過程の説明のあと功績賞、社会業績賞、貢献賞、優秀講演賞、フェロー賞の贈賞がなされた。詳細は部門賞委員会報告に委ねる。

贈呈式のあと、斎藤部門企画委員の司会によりサロンの部が開かれた。会場を提供いただいた東京ガスを代表して 村木 茂副社長の挨拶、筆者（部門企画委員長）の挨拶のあと、重鎮の石川 迪夫 様の乾杯の音頭で歓談を開始した。貢献表彰、優秀講演賞、フェロー賞受賞者の挨拶に続き、恒例となった原口前部門長による手品も、今年度はスカーフ系（海洋大・堀木先生出演）、カップ系、フラワー系の3種類が催された。来年度の幹事会社である株式会社日立製作所 井上 洋様、次期部門長の筑波大・阿部先生の挨拶で締め、盛況のうちに終わることができた。

セミナー&サロンは部門最大のイベントであると同時に、動力エネルギーに携わる研究者、技術者が集う絶好の機会であり、サロンでは楽しく交流がなされた。現在の日本は、エネルギーに関する多くの課題を抱えるが、今回の会合で、各人が思いも新たに、今後とも活躍されるものとする。最後になりましたが、企画、運営で多大なるご協力を頂いた東京ガスの方々に深く感謝申し上げます。



東京海洋大学 教授 刑部真弘氏



東京ガス株式会社 技術開発本部長 小林裕明氏



セミナーの様子



東京ガス千住見学サイト「Ei-WALK」の見学



井上 晃氏 (功績賞)



福江一郎氏 (功績賞)



當眞嗣吉氏 (社会業績賞)



部門賞受賞者 全員



坂井 彰 部門長



石川迪夫氏 乾杯ご挨拶



原口元成氏 手品ご披露



東京ガス株式会社 会場提供会社代表
村木 茂氏



株式会社日立製作所 次回幹事会社代表
井上 洋氏



阿部 豊 副部門長



サロンの様子